

2017年12月期 第2四半期決算 参考資料

I	サマリー情報	P.1
	① 経営成績	P.1
	② 財政状態	P.1
II	2017年12月期 第2四半期実績	P.2
	① 四半期損益計算書	P.2
	② 製商品別売上高	P.4
	③ 四半期貸借対照表	P.5
	④ 四半期キャッシュ・フロー計算書	P.6
	⑤ 設備投資の状況	P.7
	⑥ 非資金項目	P.7
	⑦ 研究開発の状況	P.7
III	2017年12月期 業績予想	P.8
	① 損益計算書	P.8
	② 製商品別売上高	P.10
	③ 設備投資の状況	P.11
	④ 非資金項目	P.11
	⑤ 配当	P.11
	【将来に関する記述等についてのご注意】	P.11

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てして表示しております。

2017年7月27日



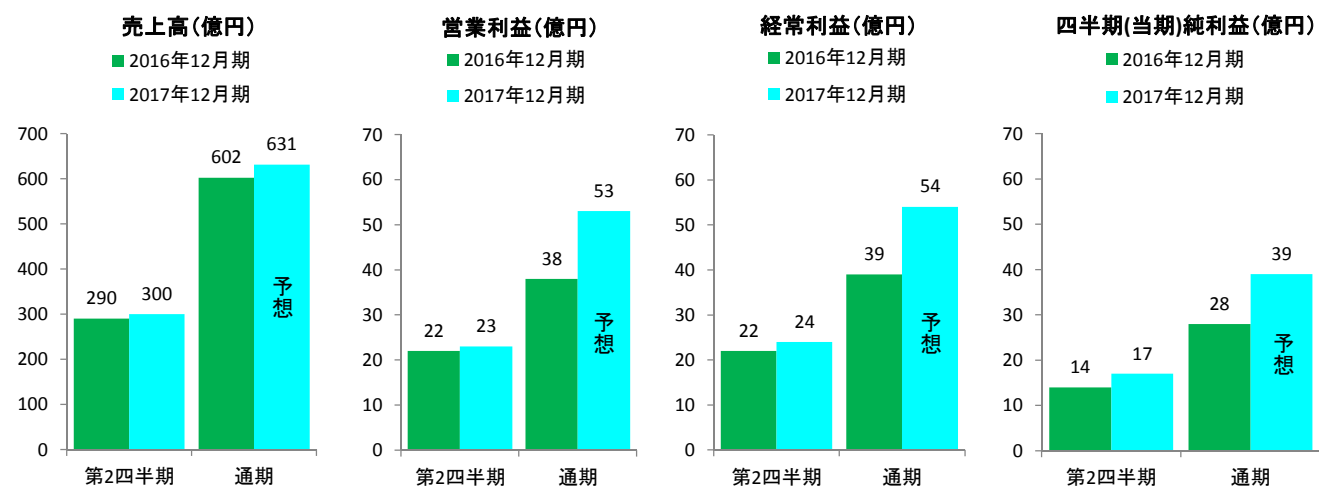
鳥居薬品株式会社

I サマリー情報

① 経営成績

2017年12月期 業績予想については、前回発表（2017年2月2日「平成28年12月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」）の予想数値を修正しております。

(単位:百万円)	2016年12月期 第2四半期 A	2017年12月期 第2四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2016年12月期 実績	2017年12月期 修正予想 C	対予想 進捗率(%) B/C
売上高	29,013	30,090	1,076	3.7	60,206	63,100	47.7
営業利益	2,217	2,371	154	7.0	3,819	5,300	44.7
経常利益	2,291	2,413	121	5.3	3,999	5,400	44.7
四半期(当期)純利益	1,483	1,761	277	18.7	2,839	3,900	45.2
(参考)							
研究開発費	2,038	2,222	184	9.0	4,654	4,670	47.6
1株当たり四半期(当期) 純利益(EPS)	(円) 52.43	62.78	10.35		100.41	139.04	
自己資本四半期(当期) 純利益率(ROE)	(%) 1.8	2.1	0.3		3.4	-	
総資産経常利益率	(%) 2.3	2.4	0.1		4.1	-	
売上高営業利益率	(%) 7.6	7.9	0.3		6.3	-	
総資産四半期(当期) 純利益率(ROA)	(%) 1.5	1.8	0.3		2.9	-	



② 財政状態

(単位:百万円)	2016年12月期 A	2017年12月期 第2四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
総資産	98,525	98,785	260	0.3
純資産	83,556	84,692	1,136	1.4
自己資本比率	(%) 84.8	85.7	0.9	
1株当たり純資産(BPS)	(円) 2,978.80	3,019.24	40.44	

Ⅱ 2017年12月期 第2四半期実績

① 四半期損益計算書

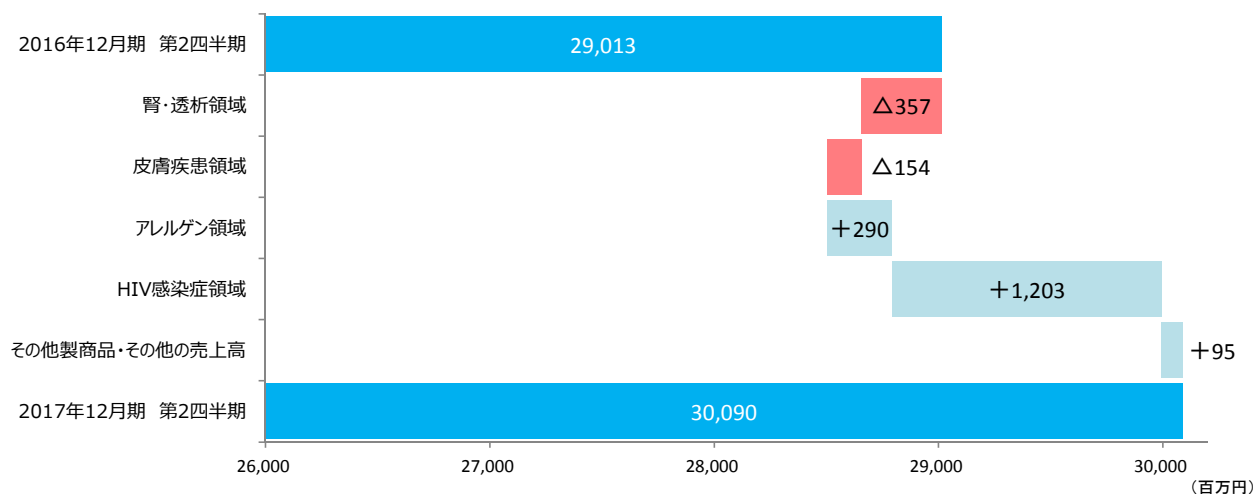
(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額	増減率 (%)
	第2四半期 A	第2四半期 B		
売上高	29,013	30,090	1,076	3.7
製商品売上高	28,735	29,603	867	3.0
腎・透析領域	12,231	11,874	△357	△2.9
皮膚疾患領域	4,951	4,796	△154	△3.1
アレルギー領域	616	907	290	47.1
HIV感染症領域	8,074	9,277	1,203	14.9
その他	2,861	2,748	△113	△4.0
その他の売上高	277	486	208	75.2
売上原価	14,155	14,773	618	4.4
製商品売上原価	14,124	14,746	622	4.4
その他の原価	30	26	△3	△12.2
売上総利益	14,858	15,316	458	3.1
販売費及び一般管理費	12,640	12,944	303	2.4
販管費(研究開発費除く)	10,602	10,721	119	1.1
研究開発費	2,038	2,222	184	9.0
営業利益	2,217	2,371	154	7.0
営業外収益	74	48	△26	—
営業外費用	1	6	5	—
経常利益	2,291	2,413	121	5.3
特別損失	15	19	4	—
税引前四半期純利益	2,275	2,393	117	5.2
法人税等	792	632	△159	—
四半期純利益	1,483	1,761	277	18.7

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2016年12月期	2017年12月期	増減
	第2四半期 A	第2四半期 B	
売上原価	48.8	49.1	0.3
販売費及び一般管理費	43.6	43.0	△0.6
研究開発費	7.0	7.4	0.4
営業利益	7.6	7.9	0.3
経常利益	7.9	8.0	0.1
四半期純利益	5.1	5.9	0.8

【対前年同期増減要因】

売上高（30,090百万円 対前年同期+1,076百万円）



主な増減要因

製商品売上高 : 販売数量の伸長による増加、薬価改定（市場拡大再算定含む）による減少

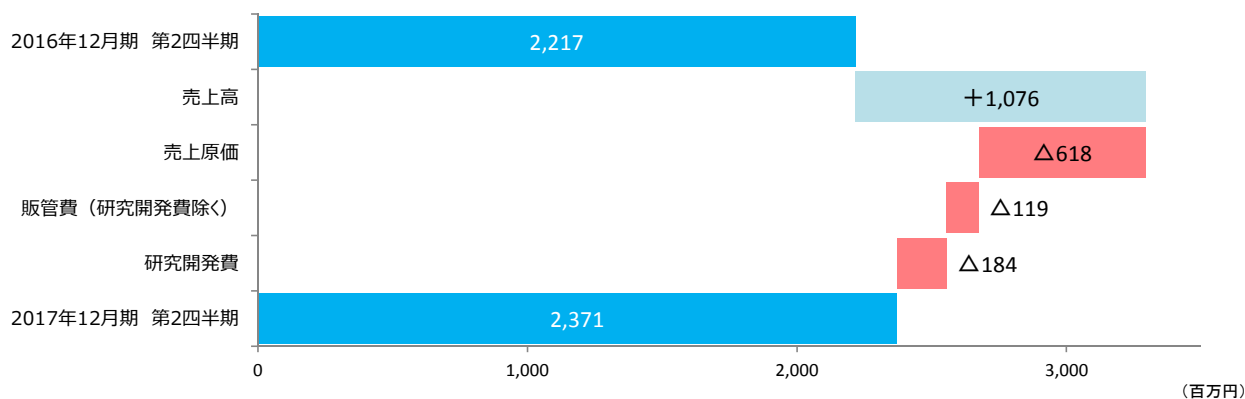
腎・透析領域 : 注射用フサン △248百万円、レミッチ △129百万円
 コリノーム錠 △122百万円、リオナ錠 +204百万円

アレルギー領域 : シダトレン スギ花粉舌下液 +172百万円

HIV感染症領域 : デシコビ配合錠 +3,522百万円、ゲンボイヤ配合錠 +2,794百万円
 ツルバダ配合錠 △3,431百万円、スタビルド配合錠 △1,642百万円

※詳細はP.4「② 製商品別売上高」を参照

営業利益（2,371百万円 対前年同期+154百万円）



主な増減要因

売上原価 : 販売数量の伸長による増加、販売品目の構成変化による増加

研究開発費 : 臨床試験費用（JTE-052）の増加、臨床試験費用（TO-203小児鼻炎）の減少

経常利益（2,413百万円 対前年同期+121百万円）

特記事項：特になし

四半期純利益（1,761百万円 対前年同期+277百万円）

特記事項：特になし

② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2016年12月期 第2四半期 A	2017年12月期 第2四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	28,735	29,603	867	3.0
レミッチ	6,696	6,567	△129	△1.9
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
デシコビ配合錠 ※3	—	3,522	3,522	—
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
アンテベート ※1	3,166	3,104	△61	△1.9
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
リオナ錠	2,635	2,840	204	7.8
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]				
ツルバダ配合錠	6,227	2,796	△3,431	△55.1
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
ゲンボイヤ配合錠 ※2	—	2,794	2,794	—
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
ビオスリー	1,162	1,189	27	2.3
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
ケイキサレート ※1	1,072	1,010	△62	△5.8
高カリウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
注射用フサン ※1	1,200	952	△248	△20.7
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
ロコイド ※1	710	713	2	0.4
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
ゼフナート	583	602	19	3.4
抗真菌薬 [皮膚疾患領域]				
シダトレン スギ花粉舌下液 ※1	382	554	172	45.0
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬 [アレルゲン領域]				
ユリノーム錠 ※1	626	504	△122	△19.5
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]				
マグセント	525	499	△25	△4.8
切迫早産における子宮収縮抑制剤				
子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
スタビルド配合錠	1,731	89	△1,642	△94.8
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
その他製商品	2,014	1,861	△152	△7.6

※1 自社品

※2 「ゲンボイヤ配合錠」は、2016年7月に販売を開始しております。

※3 「デシコビ配合錠」は、2017年1月に販売を開始しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2016年12月期 第2四半期 A	2017年12月期 第2四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
自社品売上高	8,032	7,777	△255	△3.2
自社品比率 (%)	28.0	26.3	△1.7	—

③ 四半期貸借対照表

(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額	増減率 (%)	構成比 (%)
	A	第2四半期 B			
流動資産	80,123	80,428	304	0.4	81.4
現金及び預金	22,393	17,596	△4,796		
キャッシュ・マネジメント・システム預託金	7,091	4,321	△2,770		
受取手形及び売掛金	26,560	26,537	△23		
有価証券	11,102	19,212	8,109		
たな卸資産	10,606	10,259	△347		
その他	2,368	2,501	133		
固定資産	18,401	18,357	△44	△0.2	18.6
有形固定資産	5,752	5,515	△236		
無形固定資産	896	850	△46		
投資その他の資産	11,752	11,991	239		
投資有価証券	3,877	4,456	579		
長期前払費用	6,486	6,171	△314		
その他	1,389	1,362	△26		
資産合計	98,525	98,785	260	0.3	100.0
流動負債	13,310	12,433	△877	△6.6	12.6
買掛金	6,698	6,849	151		
未払金	3,178	2,583	△595		
未払法人税等	767	758	△8		
賞与引当金	676	683	7		
その他	1,990	1,558	△432		
固定負債	1,658	1,659	0	0.1	1.7
負債合計	14,969	14,092	△876	△5.9	14.3
株主資本	82,993	84,080	1,087	1.3	85.1
評価・換算差額等	558	604	46	8.3	0.6
新株予約権	4	7	2	57.1	0.0
純資産合計	83,556	84,692	1,136	1.4	85.7
負債純資産合計	98,525	98,785	260	0.3	100.0

主な増減要因

(流動資産)

有価証券 : 債券及び金銭信託の取得による増加

(固定資産)

投資有価証券 : 債券の取得による増加、有価証券への振替による減少

④ 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額
	第2四半期 A	第2四半期 B	
税引前四半期純利益	2,275	2,393	117
減価償却費	671	593	△77
売上債権の増減額 (△は増加)	2,845	23	△2,822
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,926	347	2,273
仕入債務の増減額 (△は減少)	△125	151	276
未払金の増減額 (△は減少)	△467	△476	△8
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△156	314	470
法人税等の支払額	△1,863	△692	1,171
その他	△248	△353	△104
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,005	2,302	1,296
有形固定資産の取得による支出	△188	△312	△124
無形固定資産の取得による支出	△151	△134	16
その他	600	△321	△921
投資活動によるキャッシュ・フロー	260	△768	△1,029
財務活動によるキャッシュ・フロー	△876	△792	83
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	390	741	350
現金及び現金同等物の期首残高	36,210	38,685	2,475
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,600	39,426	2,826

(注) 現金及び現金同等物は、現金及び預金（預入期間が3ヶ月を超える定期預金を除く）、キャッシュ・マネージメント・システム預託金、有価証券（取得日から償還日迄の期間が3ヶ月を超えるものを除く）からなっております。

主な増減要因

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

- 売上債権の増減額 : 前期 売上高の減少による減少
- たな卸資産の増減額 : 前期 商品の増加

⑤ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	第2四半期	第2四半期		
	A	B		
設備投資額	347	330	△17	△5.0
有形固定資産	252	223	△28	△11.3
無形固定資産	95	106	11	11.6

当期の設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力の維持向上を目的とする製造設備への投資
 無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

⑥ 非資金項目

(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	第2四半期	第2四半期		
	A	B		
減価償却費	671	593	△77	△11.5
長期前払費用償却費	500	524	23	4.7

⑦ 研究開発の状況

開発番号 「製品名」	予定適応症等	剤形等	開発段階 (国内)					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
腎・透析領域								
JTT-751 「リオナ錠」	鉄欠乏性貧血	経口剤		Phase II				・ケリックス社と日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結 ・日本たばこ産業(株)との共同開発 (適応追加) ・日本たばこ産業(株)が2014年1月17日に高リン血症治療剤として製造販売承認を取得し、当社より販売中
皮膚疾患領域								
JTE-052	アトピー性皮膚炎	外用剤			Phase III			・日本たばこ産業(株)創製化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
	小児アトピー性皮膚炎	外用剤			Phase II			・日本たばこ産業(株)創製化合物 ・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
アレルギー領域								
TO-203 「ミテイクア ダニ舌下錠」	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠			Phase II/III終了※			・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ※今後の開発方針について検討中
	室内塵ダニアレルギー疾患 (小児アレルギー性鼻炎) (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠				申請		・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ・2017年3月24日に製造販売承認申請
TO-206	スギ花粉症 (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠				申請		・自社開発 ・2015年12月25日に製造販売承認申請

前回公表時(2017年4月27日)からの変更点

・皮膚疾患領域「JTE-052」(アトピー性皮膚炎、小児アトピー性皮膚炎)の追加

上記のほか、以下の契約を締結しております。

・2016年8月 Menlo Therapeutics社が開発を進めているニューロキニン1 (NK-1) 受容体アンタゴニスト (国際一般名: serlopitant) の日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約 (日本たばこ産業(株)との共同開発)

Ⅲ 2017年12月期 業績予想

2017年12月期 業績予想については、前回発表（2017年2月2日「平成28年12月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」）の予想数値を修正しております。

① 損益計算書

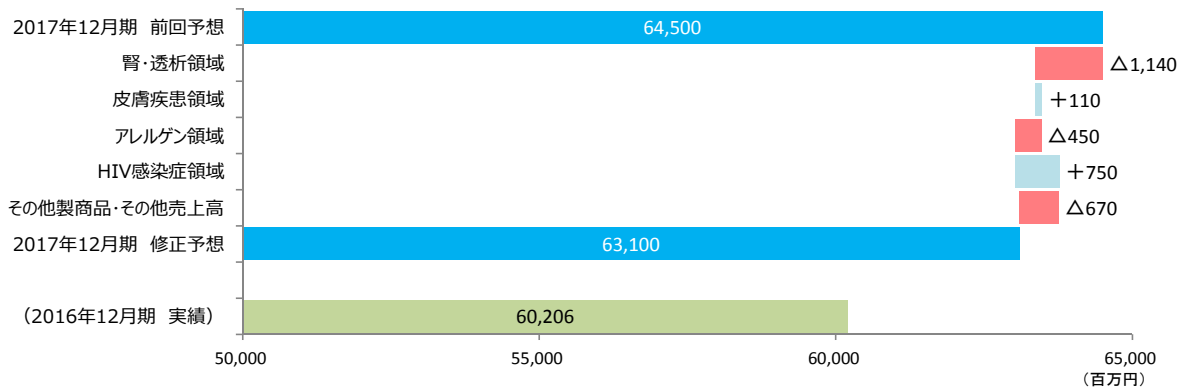
(単位:百万円)	2017年12月期	2017年12月期	修正額	2016年12月期	増減額	増減率 (%) (B-C)/C
	前回予想 A	修正予想 B		実績 C		
売上高	64,500	63,100	△1,400	60,206	2,893	4.8
製商品売上高	62,900	62,100	△800	59,620	2,479	4.2
腎・透析領域	26,400	25,260	△1,140	25,141	118	0.5
皮膚疾患領域	9,490	9,600	110	9,811	△211	△2.2
アレルギー領域	2,450	2,000	△450	1,485	514	34.6
HIV感染症領域	18,660	19,410	750	17,225	2,184	12.7
その他	5,900	5,830	△70	5,956	△126	△2.1
その他の売上高	1,600	1,000	△600	586	413	70.6
売上原価	31,700	30,800	△900	30,287	512	1.7
売上総利益	32,800	32,300	△500	29,919	2,380	8.0
販売費及び一般管理費	27,500	27,000	△500	26,099	900	3.4
販管費（研究開発費除く）	22,680	22,330	△350	21,445	884	4.1
研究開発費	4,820	4,670	△150	4,654	15	0.3
営業利益	5,300	5,300	－	3,819	1,480	38.8
経常利益	5,400	5,400	－	3,999	1,400	35.0
当期純利益	3,900	3,900	－	2,839	1,060	37.3

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2017年12月期	2017年12月期	増減	2016年12月期	増減
	前回予想 A	修正予想 B		実績 C	
売上原価	49.1	48.8	△0.3	50.3	△1.5
販売費及び一般管理費	42.7	42.8	0.1	43.4	△0.6
研究開発費	7.5	7.4	△0.1	7.7	△0.3
営業利益	8.2	8.4	0.2	6.3	2.1
経常利益	8.4	8.6	0.2	6.6	2.0
当期純利益	6.0	6.2	0.2	4.7	1.5

【2017年12月期 対前回予想増減要因】

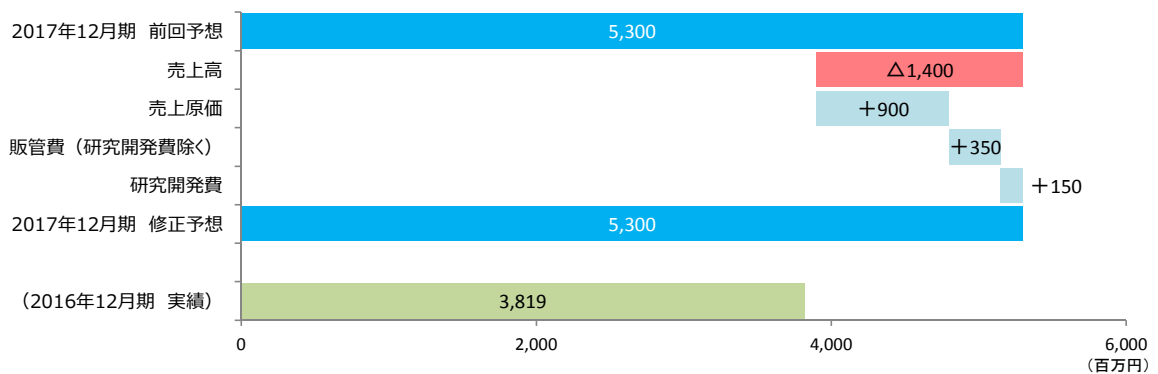
売上高（63,100百万円 対前回予想△1,400百万円）



主な増減要因

腎・透析領域	：リオナ錠	△1,310百万円	、レミッチ	+350百万円
HIV感染症領域	：デシコピ配合錠	+2,230百万円	、ゲンボイヤ配合錠	+240百万円
	ツルバダ配合錠	△1,460百万円	、スタビルド配合錠	△260百万円
その他製商品・その他売上高	：手数料収入	△550百万円		
※詳細はP.10「② 製商品別売上高」を参照				

営業利益（5,300百万円 対前回予想変更なし）



主な増減要因

売上原価	：売上高の減少
販管費（研究開発費除く）	：経費支出内容の見直し

経常利益（5,400百万円 対前回予想変更なし）

特記事項：特になし

当期純利益（3,900百万円 対前回予想変更なし）

特記事項：特になし

② 製商品別売上高

(単位: 百万円)	2017年12月期 前回予想 A	2017年12月期 修正予想 B	修正額 B-A	2016年12月期 実績 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
製商品売上高	62,900	62,100	△800	59,620	2,479	4.2
レミッチ	13,600	13,950	350	13,645	304	2.2
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]						
デシコビ配合錠 ※3	6,750	8,980	2,230	-	8,980	-
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]						
リオナ錠	7,550	6,240	△1,310	5,634	605	10.7
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]						
アンテベート ※1	6,030	6,200	170	6,277	△77	△1.2
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]						
ゲンボイヤ配合錠 ※2	5,590	5,830	240	1,865	3,964	212.5
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]						
ツルバダ配合錠	5,740	4,280	△1,460	12,754	△8,474	△66.4
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]						
ピオスリー	2,550	2,460	△90	2,455	4	0.2
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]						
ケイキサレート ※1	2,150	2,090	△60	2,178	△88	△4.1
高カリウム血症改善剤 [腎・透析領域]						
注射用フサン ※1	2,100	1,980	△120	2,462	△482	△19.6
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]						
ロコイド ※1	1,360	1,380	20	1,352	27	2.0
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]						
ゼフナート	1,360	1,300	△60	1,275	24	1.9
抗真菌薬 [皮膚疾患領域]						
シダトレン スギ花粉舌下液 ※1	1,260	1,200	△60	937	262	28.0
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬 [アレルゲン領域]						
マグセント	1,200	1,150	△50	1,165	△15	△1.3
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]						
ユリノーム錠 ※1	1,000	1,000	-	1,219	△219	△18.0
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]						
スタリビルド配合錠	400	140	△260	2,371	△2,231	△94.1
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]						
その他製商品	4,260	3,920	△340	4,023	△103	△2.6

※1 自社品

※2 「ゲンボイヤ配合錠」は、2016年7月に販売を開始しております。

※3 「デシコビ配合錠」は、2017年1月に販売を開始しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位: 百万円)	2017年12月期 前回予想 A	2017年12月期 修正予想 B	修正額(率) B-A	2016年12月期 実績 C	増減 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
自社品売上高	16,440	16,000	△440	16,316	△316	△1.9
自社品比率 (%)	26.1	25.8	△0.3	27.4	△1.6	-

③ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2017年12月期 前回予想 A	2017年12月期 修正予想 B	修正額 B-A	2016年12月期 実績 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
設備投資額	1,192	1,257	65	891	365	41.0
有形固定資産	964	959	△5	644	314	48.8
無形固定資産	228	298	70	246	51	20.6

設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力の維持向上を目的とする製造設備への投資
 無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

④ 非資金項目

(単位:百万円)	2017年12月期 前回予想 A	2017年12月期 修正予想 B	修正額 B-A	2016年12月期 実績 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
減価償却費	1,240	1,180	△60	1,339	△159	△11.9
長期前払費用償却費	1,056	1,059	3	1,018	40	3.9

⑤ 配当

	2017年12月期 前回予想 A	2017年12月期 修正予想 B	修正額(率) B-A	2016年12月期 実績 C	増減 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
1株当たり配当金 ※ (円)	48	48	0	48	0	0.0
配当性向 (%)	34.5	34.5	0.0	47.8	△13.3	-

※ 2017年7月27日開催の取締役会において、2017年12月期の中間配当を1株当たり24円にて行う旨決議しております。

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見通しを見直すとは限りません。なお、現時点において、実際の業績等に影響を与えるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ◇ 医薬品医療機器法その他の法令又は規制の変化
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発の遅延又は中止
- ◇ 製商品の供給停止、回収
- ◇ 薬価の決定、改定
- ◇ 訴訟の提起